

2021年10月 第19巻 第10号

かく語りきー聖人の言葉

霊性の実践とは、心で神の蓮華の御足 を想い続けることと、神のお考えに没 入することです。

…ホーリー・マザー・シュリー・サー · 今月の思想 ラダー・デーヴィー

心は全ての活動の先駆けとなります。 だから心は全ての知覚力のうちで最高 のものです。全ての相対的な考えの源 は心です。

…お釈迦様

今月の目次

- ・かく語りき――聖人の言葉
- ・お知らせ
- ・2021年11月、12月の生誕日
- ・ 青梅リトリート レポート 泉田シャンティ
- 2021 年 9 月 逗子例会 講話 「シャンカラーチャーリヤの賛歌 バ ジャ・ゴーヴィンダム」第2部 スワーミー・メーダサーナンダ

・2021年10月23日青梅リトリート 午 後の講話

「皆の母 ホーリー・マザー・シュリ ー・サーラダー・デーヴィー| スワーミー・ディッヴィヤーナターナ ンダ

- ・忘れられない物語

~お知らせ~

コロナウイルスの影響のため、引き続 きライブストリーミングやズームなど の配信を中心に、皆様にお届けいたし ます。ズームに関するお問い合わせ、 お申込みは下記にメールをお送りくだ さい。

zoom.nvk@gmail.com

今月の予定

2021年11月、12月の生誕日

スワーミー・スボダーナンダ 11月16日(火)

スワーミー・ヴィッギャーナーナンダ 11月18日(木)

スワーミー・プレーマーナンダ 12月12日(日)

クリスマスイブ礼拝 12月24日(金) シュリー・サーラダー・デーヴィー 12月26日(日) スワーミー・シヴァーナンダ 12月30日(木)

・日本ヴェーダーンタ協会の行事予定 はホームページをご確認ください。

https://www.vedantajp.com/

[10月22日~24日に、東京都青梅に て日本ヴェーダーンタ協会主催のリト リートが開催されました。泉田シャン ティさんによるレポートを掲載いたし ます]

青梅リトリート

十月二十二日から二十四日まで、第二 十一回戸外リトリートが東京都青梅に あるかんぽの宿青梅にて行われました。 参加者は日帰り参加も含め21人。昨年 は新型コロナウィルスのため中止とな りましたが、今年は緊急事態宣言が明 けてからの開催で、感染対策として、 会議室、集会室、大広間など施設も貸 し切り、個室、消毒、検温、マスク着 用など徹底して行いました。

通常戸外リトリートは夏の開催ですが、 今回は秋でしたので、初日はとても寒 く雨でしたが、二日目からは雲一つな い晴天に恵まれました。

今年のスワーミー・メーダサーナンダ ジによる特別講話は、「神意識の実践: シュリー・ラーマクリシュナの人生に 照らして」で、「目を閉じても神、目 を開けても神」や、全ての中にシュリ ー・ラーマクリシュナを見る実践「ラ ーマクリシュナ化」という新しい言葉 も印象的でした。

また今回は、アシスタント・スワーミ ーであるスワーミー・ディッヴャナタ ーナンダジも初めて参加され、夕拝や 賛歌の他、「皆の母 ホーリー・マザー・ シュリー・サーラダー・デーヴィー」 というテーマで講話もされました。 午後は近くの河原に散歩に行き、夜の 集会では、参加者による歌の披露の他、 佐藤洋子さんがオンライン出演で自作 の賛歌「カルマと学び舎」を披露して 拍手喝采を浴びました。また、二人の スワーミーが一緒に「ドンノ ドンノ プシュペ ボラ」というインドの曲を美 しい声で歌われました。参加者は家族 のように温かく、リトリート期間中は 終始、穏やかで神聖なバイブレーショ ンに包まれた幸せな時間が流れていま した。

コロナ禍での開催でしたが、休憩時間 も私達とともに過ごしてくださり教え を垂れてくださったスワーミー・メー ダサーナンダジ、美しい歌で魅了して くださったスワーミー・ディッヴャナ ターナンダジ、そしてシュリー・ラダ マクリシュナとシュリー・サーラダ ー・デーヴィーの恩寵により、無事に 開催できたことを心から感謝いたしま す。

















2021年9月逗子例会 講話

「シャンカラーチャーリヤの賛歌 バジャ・ゴーヴィンダム」 第 2 部 スワーミー・メーダサーナンダ

[2021年7月の例会から、シュリー・シャンカラーチャーリヤの有名な賛歌「バジャ・ゴーヴィンダム」の講話が再開されました。今回はその第2回目です]

バジャ・ゴーヴィンダムの最初の三 つの詩節についてはすでにお話しした ので、今日は第4節から始めましょう。

ナリニイダラガタ ジャラマティララム タドヴァッジヴィタマティシャヤチャ パラム

ヴィッディ ヴャーダビマーナグラス タム

ローカム ショカハタム チャ サマスタム

蓮の葉の上の雨粒のように、人の人生は不確かだ;

全世界は、病気、エゴ、悲しみの餌食になっている。

[ここで、スワーミー・メーダサーナンダ (マハーラージ) は、参加者がよく理解できるように、庭で摘んだ蓮の葉にひと匙の水を垂らして、雨粒がどのようになるかをお見せになった]

シャンカラーチャーリヤは、皆さん が今見た例えを用いました。蓮の葉以 外の葉では、これほど顕著に効果はあ らわれません。

この世で一番不思議なこと

人生が不確かであるとは、蓮の葉の 上の雨粒のように今にも落ちそうで不 安定である、という意味です。また、 私たちは病気、エゴ、悲しみの餌食で ある、と言ってます。これには二つの アイデアが示されています。一つ目は、 人生は不確かである、ということ。二 つ目は、人生は順風ではないというこ とです。生きている限り、人生は病気、 悲しみ、エゴの対象となり、すごく幸 せに生きる、ということはできません。 マハーバーラタ叙事詩に有名な話があ ります。ユディシュティラはパーンダ ヴァ兄弟の長兄で、とても高潔で霊的 で智慧のある人でした。ある時ユディ シュティラは、最も不思議なことは何 ですか、という質問を受けました。こ こで、ユディシュティラの答えの前に、 別の物語の同じ質問をみてみましょう。 ある骨董屋が一人の客から、この店で 最も不思議なものは何ですか、と聞か れました。店主は自分自身を指さして、 私がこの店で最も不思議なものです、 と言いました。これも一つの答えです。 私たちはそれぞれ生まれながらに不思 議です。もし私たちが、意識の心、無 意識の心、超意識の心を考えるなら、

それぞれの人は独特です。だから私たちはユディシュティラの答えを知る前には、このように答えるかもしれませんね。しかし、この質問にはもっと大事な回答があります。ユディシュティラは答えます。

アハニー アハニ ブーターニ ガッ チャンティ ヤママンディラム シェシャハ スタヴァラム イッチャ ンティ キム アシュチャリャム ア タハ パラム

一瞬間ごとに多くの人々が死の王の住 処へと旅立っている。

しかし残された人たちは、自分は死なない、と思っている。これがこの世で最も不思議なことだ。

これは、このように言いかえるこというに言いかえるこというに言いがれ死ぬ、ということは、誰もが知っている。死を目をせいる。をいうことは知っている。しかし、こう思う、「という思う、「というない」」っているない。というにないないないでしまないがらことでいるがらでしまっているからです。しかし、というにといるからです。しかし、ういとに言いないのです。しかし、ういとに言いないのです。しかし、ちらにおいるからです。しかしているからです。しかしているからです。しかしているからです。しかしているからです。しかしているからです。しかしているからです。しかしているからではいるからです。しかしているからではいるからです。

死が訪れるのがいつか知っている人な どいるでしょうか? 今日? この瞬間? それは誰も分かりません。

自然災害、伝染病、病気

自然災害や戦争で瞬時に亡くなる人 がいます。1923年の関東大震災や、ま た第二次世界大戦中に日本では東京大 空襲や長崎・広島の原爆で多くの人が 亡くなり、世界を見渡せば何百万人も の人々が亡くなったことを考えてくだ さい。最近では2011年の東北地震と津 波があげられます。どの出来事も、ほ んの数分でいったいどれほど多くの人 が亡くなったでしょう? もちろん世 界大戦がいつも起きるわけではありま せん。しかし、地震や津波、火山噴火 などの自然災害はランダムに起こるの で、いつ起きるか誰にも分かりません。 誰も知らないのです。いつでも、どん な瞬間も、どこでも、そのような出来 事が起これば、私たちの人生は消えて しまいます。2021年6月18日現在、コ ロナ・ウイルスの蔓延は 400 万人を超 える命を奪いました。これは膨大な数 ですが、それは人類史上初の広範な感 染流行ではありません。これまで、ペ スト、チフス、ハンセン病、インフル エンザ、天然痘、マラリアなどの感染 流行があり、多くの村や市が荒廃し、 非常に多くの人々が短期間で亡くなり ました。癌は別の一般的な病気ですが、 誰がいつ癌に苦しむことになるのかを 知る人はいません。

私は旧知の外国人が入院した際にお 見舞いに行ったときのことを思い出し ます。彼は当時50代で、アーティスト であり素晴らしい歌手でした。彼はこ れまでとても幸せに暮らしていた、と 言いました。彼は数種類の検査を受け て癌であることが分かったのです。私 が病院に見舞ったとき彼は言いました 「スワーミージー、私はこれまでとて も幸せな生活を送っていました。それ が突然、全てが変わったのです。世界 が完全に変わりました」。このように、 癌は静かに、警告なしにやってきます。 誰もそれに気づかない。蓮の葉の上の 雨粒のように。それなのに、私たちは 「私はいつか死ぬが、でも今ではない」 と思っているのです。 肝心ことは、 今ではないと言っているのは誰か、今 ではないと確証できる人などいない、 ということです。今にも死ぬかもしれ ないとしたら、それに直面する準備は できていますか? 勇気や智慧をもっ て、死に立ち向かえるでしょうか。 えは、イエスですか、ノーですか? 自 分がもうすぐ死ぬことを知らされる 人々がいます。死ぬまでに長い猶予が ある場合(がん転移がない等)と短い 猶予しかない場合があります。

パーリクシット王、呪われる

バーガヴァタムの中に、パーリクシット王の物語があります。パーリクシット王は偉大な王でしたが、ある聖者

の息子に呪われました。パーリクシッ ト王は、パーンダヴァ兄弟の三男アル ジュナの孫でアビマンユの息子であり、 智慧に満ちていました。ある時、パー リクシット王は数名で森に狩猟に出か けました。森の中をさまよい歩き、と ても喉が渇いたので水を探していると、 聖者が瞑想しているところに遭遇しま した。当時、家族と共に森で暮らしな がら霊的実践をしている聖者に出会う ことは、よくあることでした。パーリ クシット王はその聖者に水を求めまし たが、聖者は瞑想に深く没入していた ので、パーリクシット王の願いが聞こ えませんでした。二度三度、パーリク シット王は丁寧に尊敬を込めて願いを 繰り返しましたが、返事はありません。

それでパーリクシット王は非常に腹 を立てました。腹が立ったらどのよう になるか、皆さん知っていますね。礼 儀を忘れてしまいます。激怒したパー リクシット王はヘビの死体を聖者の首 にネックレスのようにかけました。そ れでも聖者はこのことに気づきません でした。聖者には息子がいたのですが、 その子は他の子どもたちと近くで遊ん でいました。ある人がその息子に、王 様がやってきて君のお父さんに水が欲 しいといったのだが、お父さんは瞑想 をしていたので何度いわれても返事を しなかった。怒った王様はヘビの死体 をお父さんの首にかけた、と聖者の身 に起こったことを伝えました。その子 はとても有名な聖者の息子でしたので、 霊的苦行を実践しており、霊力があり ました。息子はお父さんのもとへ駆け 寄り、ヘビの死体が首に巻かれている のを見ました。父への侮辱を見た息子 は激怒し、「この侮辱を犯した者は、一 週間以内にヘビに噛まれて死んでしま え」と宣言しました。そのような人物 が呪った言葉は実現します。

智慧と勇気をもって死に直面する

聖者がこのことを知ると深く悲しみ、 そして息子を叱りました。「おまえは何 をやってしまったのだ? パーリクシ ット王は素晴らしい王だったのだよ。 私たちのような聖者を保護し、求めれ ば援助もしてくださる。王は水が欲し かったのに私が答えなかったので怒っ ただけなのだ。それなのにどうしてっ ただけなのだ。それなのにどうしてう は王を呪ってしまったのです?」 そうは言っても、呪いの言葉はすでに 発せられており、その呪いを撤回する すべはありませんでした。

しかし、呪いのことを聞いたパーリクシット王は、聖者の首にヘビの死体を巻いたことは間違いだったと気づき、「この呪いは当然の報いだ」と言いました。直ちにパーリクシット王は王位を放棄し、息子を後継ぎにしました。パーリクシット王は残された時を霊的実践に捧げるために、ガンジス川のほとりに行きました。この物語は、ヒンドゥ教の最も名高い聖典バーガヴァタ

ムの冒頭で語られている話です。パーリクシット王は聖者の首にヘビの死体をかけてから七日後に、ヘビに噛まれて死ぬことを知っています。つまり、パーリクシット王は死の準備のために七日間の猶予が与えられたのです。

パーリクシット王は聖者たちがガン ジス川のほとりに彼を訪ねてくるよう 招待したので、多くの聖者がやってき ました。王はその聖者たちに、どうか 私の残された日々に神様のことをお話 しください、と言いました。王は、私 は王国の全てのこともこれまでの仕事 の結果も永遠ではない、ということが 分かったので、もっともっと永遠のこ と、神様のこと、ブラフマンのことを 知りたいのです、と言いました。多く の聖者が神について講義し、話をし、 議論しました。ある時、当時のインド で最も偉大な聖者であったパラマハン サ・シュカデーヴァは自由な鳥のよう にさ迷い歩いていたのですが、たまた まその場を訪れました。パーリクシッ ト王を含め、皆、偉大なシュカが来ら れたことが分かると敬意を表して立ち 上がり、深い尊敬の気持ちをもってシ ュカデーヴァを迎えました。パーリク シット王がシュカデーヴァに話をして くださいとお願いすると、シュカデー ヴァはシュリー・クリシュナの話を始 めました。これこそが、死を近くに感 じたものがとる霊的方法です。つまり、 智慧と勇気をもって死に直面するので

す。

無敵タイタニック

タイタニック号の悲劇で死を前にし た人びとが取った態度についてお話し します。当時、イギリス人は「太陽は 決して大英帝国には沈まない」と豪語 していました。イギリスはかつて、力 と富をとても誇っていましたが、それ はインドなど世界中の植民地からの搾 取で得たものでした。イギリスの海運 会社ホワイトスターラインの巨大で近 代的な旅客船タイタニック号も自慢の 一つでした。ホワイトスターライン社 は、この新しい船は決して沈まない、 なぜなら技術的に非常に高度で、力強 く、とてもよく作られているから、と 宣伝しました。処女航海が大々的に宣 伝されました。タイタニック号のニュ ーヨーク行きの大航海は安全だとして、 乗船代金はとても高く設定されました。 一週間の航海中、エンターテインメン トや豪華な食事が入念に手配され、こ れまでにないほど快適で豪華な旅が約 束されていたので、金持ちたちは高い 船賃など気にしませんでした。イギリ スのサウスハンプトンを出港してから 4日後のことです、ブリッジにいた一等 航海士は舵輪に衝撃を感じました。何 か大きなものに当たったようですが、 誰も何も見なかったし、その徴候さえ ありませんでした。船長は最終的に、 タイタニック号は全速力で巨大な氷山 の水没部分にぶつかったのだと理解し

ました。厚い鋼鉄製の船体に大きな穴 が開き、海水が船に入りだしました。 船長は刻々と変化するタイタニック号 の状況を乗客に説明しましたが、最終 的にはこの船はもうすぐ沈むだろうと いうことが分かりました。船長はその 後、船の救命ボートを下げ、最初に女 性と子供を優先するように指示しまし た。多くの乗客は、この混乱の中で自 分は救命ボートには乗れないだろうか ら、全く生存のチャンスがないことを 理解しました。絶望的な船に残った多 くの乗客は、「どうせ死ぬのなら、音楽 や喜びや楽しみのうちで死にたい」と、 歌とダンスで最後の瞬間を楽しむこと に決めたという報告があります。

快楽主義の終焉

さて、私たちは、パーリクシット王 が死に直面したとき、全てを放棄して、 ただ神のことだけを考えたかった、と いうことを知っています。それに比べ、 沈みゆくタイタニック号の多くの乗客 が証明するように、多数の人々は死に 直面すると、それが数時間先、数分先 であっても、お祭り騒ぎで最期を迎え ることを選びます。そんな人たちの理 想は、できるだけ長くできるだけ多く 人生を楽しむことです。カタ・ウパニ シャドは言います。そのような人びと は畑の作物のようだと。彼らは解脱を 求めることなく、解脱を得ることなく、 長い期間、生と死の繰り返しのサイク ルにどっぷりつかっています。

シュリー・シャンカラーチャーリヤ は死に直面している人達に、バジャ・ ゴーヴィンダムを勧めます。これらは、 死に直面している人の全く異なる二つ の理想の姿です。さらにシャンカラは、 生まれた者は誰もが苦しみの対象であり、その苦しみの原因は、エゴ、病気、 悲しみである、と言います。喜びもありますが、エゴ、病気、悲しみが原因 の苦しみは何度も繰り返されます。 す。これは、喜びや楽しみの中で人生を過ごしたい人びとの運命です。これを快楽主義的な生き方と言います。

神は万人に知らせてくださる

しかし、私たちの多くはもうすぐ死 ぬ、という知らせを受け取ります。そ うです、神は、最後の旅立ちの準備す るときを皆に知らせてくださるのです。 どのように? 視力、聴力、肉体的な 力がゆっくりと損なわれ、肌にはしわ ができ、髪は白髪になります。これも 「準備せよ」「準備せよ」という警告を 私たちに気づかせる奥深い方法です。 歯医者に通い、眼科医で眼鏡を新調す れば、しばらくの間は全て順調だと感 じるかもしれません。私たちはタイヤ を交換し続けるのです。私たちはオイ ル漏れや壊れた部品を一つ一つ交換し ますが、エンジンがいつか突然停止す るとは考えない、つまり私たちの人生 の旅は突然終わる、とは考えません。 最終的には、タイヤを交換しても動か

なくなります。現代医学は来たる死から私たちを救うことはできないのですから、私たちは皆、運命に直面する、すなわち死という運命に直面しなければならないということを心に留めておくべきです。死への準備をしようではありませんか。

死のイメージ

死が心に与える影響とはどのような ものでしょうか? 一般的に死のイメ ージは、とても痛い、怖い、です。ど うして死をそんなに痛いものだと思う のでしょうか? 深刻で痛みを伴う病 気にかかれば、死ぬまでずっと痛い、 というイメージにおびえます。これは 死ぬ前の肉体的な痛みのひとつのイメ ージです。死に際して精神的な痛みの イメージもあります。私たちはこの世 の多くの人や物を愛し、それらに深く 執着しています。死ぬということは、 それらを全てあきらめ、身近な愛する 全てのものから離れざるを得ないこと を意味します。このことが精神的な苦 痛を引き起こすのです。

どうして死は恐ろしいのでしょうか? それは「未知」という恐怖です。 死んだら何が起こるのか、どうなるのか分からない、という恐怖です。私たちにはその経験の記憶がありませんから。さらに、自分の存在がなくなる、という考えも、痛みや恐れの原因です。これらは死のネガティブなイメージで す。その源は執着です。自分の身体、 心、人々、友など、この世のものへの 執着です。

なぜ死ぬのか

基本的な疑問が残ります。なぜ死な なければならないのでしょうか? (笑 い) 答えは、いかなる化合物もいず れは分解される、ということです。そ れは自然の摂理です。五つの重要な要 素とは、土、水、火、空気、エーテル のことです。私たちの身体もそうです が、それらの要素から生じ、構成され たものは、やがては分解されます。こ れは単純な論理です。ピラミッド、タ ージマハール、万里の長城、ヒマラヤ やエヴェレストでさえ、さらには太陽 や月までも、全ては時間の経過ととも に崩壊するでしょう。全ての瞬間にお いて、私たちの体細胞は成長し、死滅 しています。若い頃は新しい細胞が作 られる割合が大きいですが、歳をとる につれて、古い細胞が新しい細胞に生 まれ変わりにくくなります。これが歯、 目、耳のトラブル、肌のしわ、白髪の 原因ですし、病気に対する抵抗力も衰 えます。これらは全て、分解の現象な のです。

逃げ道はない

私たちは死から逃れることはできるでしょうか? 中央アジアの現イラクの国に古い物語があります。その頃、イスラムの皇帝がいました。皇帝には

お気に入りの召使いがいました。その 召使が庭を歩いていると、目の前に黒 い影が立っていたので「あなたは誰で すか」と尋ねました。

その存在は答えました。「私は死の代 理人です」

「ここではどんな仕事をなさってい るのですか」と召使いは尋ねました。

「私はあなたを連れていくために来 ました」とその影は穏やかに言いまし た。

これを聞くや召使いは庭から飛び出して主人のもとへ走っていき、「旦那さま、旦那さま」と泣きついて、庭にいる黒い影が自分を一緒に連れて行くと言っていることを話しました。

皇帝は言いました、「おお、それでは 急いで馬小屋に行って一番の駿馬に乗 り、ここから逃げなさい」。 召使いは 言われた通りにして、100 キロほど離れ た別の町へと急ぎました。馬で駆けて きたことと恐怖で疲れ果てたところさと 、休憩所を見つけたのでそこで休もうと 思いました。しかし部屋に入ると、先 ほどと同じ黒い影が彼を待っていまし た。「おや、ここにおられるとは!」と 召使いは恐怖で息が止まりそうになり ました。「庭に置き去りにしたはずなの に」 「はい、私たちはまさにこの部屋で 会うように運命づけられていました」 と影は言いました。「先ほどは、あなた が皇帝の庭にまだいるのが分かってと ても驚きましたよ」

つまり、私たちは死の王から逃れる ことはできないのです。召使いは自分 の終焉を迎えるのに決められた場所と 時間にたどり着くために、駆けたにす ぎませんでした。

死の準備については、また別の機会にお話しすることにして、次回は、病気、エゴ、苦しみなどについてお話しします。

[青梅リトリートの二日目、10 月 23 日午後の講話:スワーミー・ディッヴィヤーナターナンダジーによる「皆の母、ホーリー・マザー・シュリー・サーラダー・デーヴィー」を掲載いたします]

「皆の母、ホーリー・マザー・シュリー・サーラダー・デーヴィー」 スワーミー・ディッヴィヤーナターナンダ

母は愛と慈悲の象徴です。我が子に 対する母の愛は、人類の愛の中で最も 純粋といえるでしょう。私たちが神へ の愛を深めたいなら、神との愛しい関 係を築かなければなりません。私たちは神を自分だけのもの、自分の全てにしたいので、神を父、母、友達とみなすことから始めます。

ホーリー・マザー・シュリー・サーラダー・デーヴィーを自分の母である、と想像する必要はありません。なぜならホーリー・マザーは全ての子供の本当のお母さんだからです。ホーリー・マザーご自身がこのようにおっしゃいました。「私はあなたたちのお母さんですよ。養母ではなく本当のお母さんです。だからあなたが苦しんでいるときはいつでも『私にはお母さんがいる』と自分自身に言い聞かせなさい」

ホーリー・マザーのイメージを心に 描くとき最初に思い浮かぶ特徴は、慈悲深さです。子供のころからサラダマニ(サーラダー・デーヴィー)には母のような心があらわれ始めました。飢饉がベンガルを襲ったとき、ホーラ・ムコパッダエはキチュリ[インドの食べ物]を村人たちに配ることにしました。熱々のキチュリが皿に盛られると、幼いサーラダーはキチュリが早く冷めるように、うちわで皿をあおいだそうです。

師の弟子のお母さん

シュリー・ラーマクリシュナが存命 中、ドッキネッショルでホーリー・マ ザーは師の弟子たちのお母さんとして 知られていました。弟子たちの好ることを でしました。弟子にな種類の料理を作ること でしました。ある・マハーラーシーンが、 でしました。カム・マンダジーンのパンコーシーンドでのパンコーンが、それを見たタナーが、それを見たった。 ではるもしにいました。なっとないました。 と返事をしました。

スワーミージー(スワーミー・ヴィヴェーカーナンダ)はシカゴへ発つ前にマザーの祝福を熱心に求めました。そして西洋からインドに凱旋したときには、五体投地でマザーにご挨拶をして言いました。「お母さん、あなたの恩寵のおかげで、師のメッセージを白人の国で説くことができました」

師が亡くなった後、ホーリー・マザーはさまざまな場所に巡礼に行きました。その頃、師の出家弟子たちはとても厳しい苦行生活を送っており、日々の食べ物に困ることもたびたびありました。ホーリー・マザーは師の子供たちが施しを乞うために家々をまわることが耐えられなかったので、さまざな寺院の全ての神々に、師の子供たちが生きていくために必要な食べ物と必

需品が得られますように、といつも祈りました。

ホーリー・マザーはシュリー・ラーマクリシュナの出家弟子だけのお母さんではありません、ホーリー・マザーの母の愛は、全ての信者、信者でない者、教養のある者、ない者、上位カーストの者、下位カーストの者、さらには道徳の道を外れた者に対してまでも向けられました。ホーリー・マザーは東洋人、西洋人、また、人間だけでなく動物のお母さんだったのです!

ホーリー・マザーの母性を物語る話 をいくつかします。

病気で苦しむ僧侶の看護

ラジェン・マハーラージは、コアル パラ「ジャイラーンバーティーの隣村】 のラーマクリシュナ・ヨーガアシュラ マの僧院で働いていました。ある時、 マハーラージがジャイラーンバーティ ーにやってきてホーリー・マザーに、 アシュラム長との衝突が大きくなった のでヴァーラーナシーにしばらく行き たい、という願いを伝えました。ホー リー・マザーはそれを聞いてラジェ ン・マハーラージにしばらくジャイラ ーンバーティーに滞在するように言い ました。ホーリー・マザーは朝のプー ジャの後に、毎日シャーベット(粒ア メのシロップ)と朝食を摂っていまし た。ラジェン・マハーラージがジャイ

ラーンバーティーに来ると、ホーリー・マザーは毎日礼拝のあとに彼をも室に呼んで、ご自分はシャーベットを少しだけ飲み、残りを全てラジェン・グットはマザーの健康のためにとてもオットはマザーの健康のためにとてもいったので、ラジェン・やれたでくれなな大事なもので、ラジェン・やれただくわけにはいかないと、最初はかたくなに飲むのを断っていたのですが、ホーリー・マザーの愛の力に屈しりました。

その頃セヴァク・ブラフマチャーリ はジャイラーンバーティーでホーリ ー・マザーの家族のお世話をしていた のですが、ホーリー・マザーがラジェ ン・マハーラージにシャーベットをあ げていることに気づきました。そこで ホーリー・マザーはブラフマチャー リ・セヴァクを片隅に呼び、状況を静 かに説明しました。「ラジェンはコアル パラでの料理の雑多な仕事のせいで頭 がカッカしていて、それでアシュラム の偉い人たちと困ったことになってい るの。このシャーベットはラジェンの 頭を冷やすのにとてもいいのよ」ホー リー・マザーはご自分の健康のことは そっちのけで、愛をもってお世話する ことで、弟子の問題を解決したのです。

ギャン・ブラフマチャーリはホーリー・マザーのもう一人の出家弟子で、

同じくジャイラーンバーティーに滞在していました。ギャン・ブラフマチャーリは疥癬がひどくなり、痛すぎて自分の手で食べることもできませんでした。その時ホーリー・マザーは、彼の皿の料理を混ぜて、少しずつご自分の手でギャン・ブラフマチャーリに食べさせました。

インドの信者、外国人両方の母

ホーリー・マザーは本当に皆の永遠 の母でした。彼女の子供の中にはイン ド人だけでなく外国人の子供もいまし た。サラ・ブル、ジョセフィン・マク ラウド、シスター・ニヴェディタ [ス ワーミージーの西洋の女性信者達] が ホーリー・マザーとボセパラ街で面会 をしたとき、マザーは彼女たちを愛情 深く受け入れました。彼女たちと言葉 は通じませんでしたが、マザーはハー トからの言葉で会話をしました。ミ ス・マクラウドが通訳を通して食事を ご一緒したいと申し出ると、マザーは それに同意しました。当時ヒンドゥ教 にはとても厳しいルールがあり、ヒン ドゥ教徒の未亡人が西洋人と食事を共 にすることは簡単なことではありませ んでした。しかし、スワーミー・ヴィ ヴェーカーナンダの言葉「愛は恐れを 知らない」という言葉通り、ホーリー・ マザーのあふれんばかりの愛情はカー ストの全制約を打ち破りましした。

ホーリー・マザーが彼女たちと食事

を共にすることで、西洋の信者もヒンドゥ社会の一員であるということを示したのです。ホーリー・マザーはシスター・ニヴェディタのことを愛情を込めて少女を意味する「クキ」と呼び、ジョセフィン・マクラウドのことは「ジャヤ」と呼びました。

雑用人に対する親切

チャンドラ・モハン・ダッタは東ベンガルのある村からコルカタにやってきて、仕事を求めて街を歩き回っていました。やっとのことでウドボダンで職を得て、そこで雑用人として働くようになりました。

ウドボダンで出版された本を他で売ることで臨時収入も入るようになったので、少しずつ彼の経済状況は好転していきました。しかし、幸運から悪運です。彼の故郷の家が洪水で流され、ひどいまとに投げ出され、ひどい状況に置かれている、という知らせを受けれている、という知らせを受けたのです。彼は心配と不安で胸が張り裂けそうでした。そのことを知ったまりでした。そのことを知った。リー・マザーは彼に300ルピーを渡し、郷里にもどって家を手に入れ、そこに家族を住まわせるように言いました。

このことは、雑用人すらもホーリー・マザーの愛する子供の一人であった、ということのほんの一例です。後に、チャンドラ・モハンは目に涙をため、感動で声を詰まらせながら、この話をしたそうです。

ホーリー・マザーの家族が増えたの で、ある人がホーリー・マザーに牛乳 を搾るようにと牝牛を寄付しました。 そこでゴーヴィンダという名前の孤児 が牛の世話をするために雇われました。 彼はしっかりと自分の仕事をしていた のですが、数日経つと疥癬がひどくな り、治療をしても良くなりませんでし た。ある夜、病気はとても深刻になり、 ゴーヴィンダはひどい痛みで泣き叫び ました。次の日の朝早く、ホーリー・ マザーはターメリックとニームという 特別な葉で軟膏を作り、ゴーヴィンダ にそれをどうやって肌につけるかを教 えました。マザーのこの個人的なお世 話でゴーヴィンダは大いに慰められ、 彼の顔は喜びに輝きました。

私たちは、卑しい職業の人が困っていても無視することが多いのですが、ホーリー・マザーは家族の使用人に対しても、愛をもって接したことにとても心が打たれます。

人類と動物のお母さん!

シュリー・クリシュナはバガヴァッド・ギーターの中でこう言いました:

おおアルジュナよ、私は一切生類の 胸に真我(魂)として住んでいる。ま た、私は万物万象の初めであり、中間 であり、そして終わりである。

私は、馬の中では甘露酒 (アムリタ)

の海から生まれたウッチャイシュラヴァである。巨象の中ではアイラーヴァタ、また人びとの中では王である。

牛の世話係のゴーヴィンダの続きです。ある時、こんなことがありました。 牛が哀れっぽい声でないています、どこかがとても痛いようです。鳴き声を聞いた家族のだれもが不安になりました。ホーリー・マザーは牛に近づくと、両手で牛を抱きしめて、我が子にするように、牛のへそのあたりを撫でました。それでその牛は救われたのです。

ガンガラムという名前の九官鳥がいました。九官鳥は音真似がとても上手く、人の言葉もそっくりに真似ることができます。時々ガンガラムは「マー、オー、マー(お母さん、お母さん)」と鳴きました。そんなときホーリー・マザーはそれに答えて、穀物をガンガラムの前においてやりました。

またある時、ホーリー・マザーの家の飼い猫が死にました。ホーリー・マザーは猫が死んでから13日目後に僧侶たちを招いてごちそうをふるまい、僧侶たちは賛歌を歌いました。[インドでは人が死んで13日目に特別な儀式がある]

犯罪者や道徳的な道から逸れた人びと の母

師の直弟子のひとりが、ある信者の

行為に腹を立て、その信者をマザーの 近くに来させないようにしてください、 とホーリー・マザーにお願いしました。 しかしマザーは言いました。「もし自分 の息子がほこりや泥にまみれていたら、 全ての汚れをふき取って、膝の上にの せてやるのが私のつとめです」

ベルル・マトで一人の労働者がお金 を盗んだので、スワーミー・ヴィヴェ ーカーナンダは彼を追放しました。そ の男はどうしようもなくなって、ホー リー・マザーが滞在していたウドボダ ンに駆け込みました。全てを聞いたホ ーリー・マザーはその男に、2,3日私 の家にいなさい、と言いました。数日 後、ホーリー・マザーはスワーミー・ プレーマーナンダジーを呼んで、彼が お金を盗んだのは貧乏がそうさせたの ですよ、と言ってその男をもとの仕事 に戻すようにと言いつけました。出家 僧は時々、在家の人の苦しみを理解で きないことがあります。プレーマーナ ンダジーは、しかしスワーミージーが 怒っているのです、とホーリー・マザ ーの言いつけに難色を示しました。す るとホーリー・マザーは「私が彼を連 れて帰りなさいと言っているのよ」と 強く言いました。全ての経過を聞いた スワーミージーは彼をもう一度雇うほ かありませんでした。

自分のお母さんに似ている

ラシェベハリ・マハーラージは幼少

時に母を亡くしたので、心には常に孤独感がありました。ラシェベハリ・マハーラージがホーリー・マザーに初めて会ったとき、まるでお母さんが自分を抱きしめようと待っていたかのように感じました。そしてホーリー・マザーとの出会いがラシェベハリ・マハーラージの人生を永遠に変化させました。

自分の母に見た目の特徴が似ている ことを見つける信者も多くいました。 初めてホーリー・マザーに会ったとき に、目の前に自分のお母さんが座って いるかのように感じた信者もいるほど です。

多くの信者がホーリー・マザーに初めて会ったとき、マザーはまるでずっと前からの知り合いのように受け入れてくださることに衝撃を受けました。だからすぐに当初のためらいはなくなりました。

ある時、ラシェベハリ・マハーラージは用事で別の村に行き、午後も遅くなってから戻りました。驚いたことに、ホーリー・マザーはまだ昼食をとっていませんでした。ラシェベハリ・マハーラージが、なぜ先に食べてくださらなかったのですか、と抗議をすると、「我が子よ、どうしてあなたが食べていないのに食べることなんてできるか

しら」と言いました。大慌てでラシェ

ベハリ・マハーラージが素早く昼食を

終えると、やっとホーリー・マザーと 同席の女性たちも食べました。

結び

疑問がわきます。人間の母とホーリー・マザーとはどう違うのだろうか? また、人間の母はホーリー・マザーが 子供たちを愛したように我が子を愛せ るだろうか?

人間の母の心にはほんの少しの私欲がありますが、ホーリー・マザーの愛には全く不純なものがありません。ホーリー・マザーの心は「至福が水差しに満ちている」状態で、その愛は、見返りを求めることなく、ただただあふれ出たのです。彼女は「愛」の具現でした。

一般的な母は通常、我が子をよその子よりも愛します。しかし、ホーリー・マザーの愛は皆に平等でした。そして、一般的な母とは異なり、愛がとても深いにもかかわらず、いかなる執着もありませんでした。

さらに、ホーリー・マザーは今生の 母というだけでなく来生の母でもあり ます。

人間の母には限界があるので、我が 子の望みを全てかなえてやることはで きません。人間の母はある限度までは 我が子を世話したり大事にできますが、 ホーリー・マザーは全能です。マザーは全ての望みと必要なことを解脱も含めて与えてくださいます。人間の母性が解脱を授けることはできますか? 絶対にできません。

忘れられない物語

ひとつの存在に絶対的な信仰をもつ

バイ・ゴパールは純真な男だった。 バイはシーク教の五番目のグル、グル・アルヤン・デーヴィジーをとても 愛し信仰していた。バイは仕事をする ときも正直で、荷物保管庫で働いていた。皆、バイを信用して荷物を預け、 バイは彼らのために荷物を保管していた。ある時、ジャマール・カーンとい う人物が金貨 500 枚を預けに来た。あ いにくその日はとても忙しかったので、 バイは金貨をきちんと登録して保管す ることを忘れてしまった。

あとで、ジャマール・カーンが戻っ てきて金貨を返してくれるように言っった。バイ・ゴパールはジャマール・シーンに、本当になりましたが見つからな当れた。本が見いたがましたかままれた。それを聞いたジャマール・カーンは怒って言った。「あのときという。」と言ったじゃないか。と言ったじゃないか。どれだけバカにしたら気がすむただけがかにすった。「がイ・ゴパールはもうつからない。

ジャマール・カーンはバイ・ゴパールを皇帝のもとに引っ立てた。皇帝・ゴパールがシーク教徒でグルールがシーク教徒ででで、金貨のことでで、金貨のことがからないたが分からないないであれたで、大きないではジャマールをである。それではジャマールをである。まみ出ている。まな出ている。まないで、あなた様は私の解決は手をはいるというでは、あなた様は私のはいます。今ももおけくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいまなた様が私をお救いくださいます。

す」。バイはそう言いながら煮えたぎる油の中に手を突っ込んで、コインを取り出した。けれどバイの手は、焼けどもケガも全くしていなかった!

それを見たジャマール・カーンも手を合わせて全ての聖者に、お助けください、お守りださい、安全でありますように、と祈った。祈りのあと、壺の底のコインを取り出そうと手を伸ばしたが、油に少し触れただけで、あまりの痛さに「あいたたた、指をやけどした!」と大声で叫んだ。

しばらくして、バイ・ゴパールは保 管ビルの事務所の一角にジャマール・ カーンの金貨を見つけた。ホッとした バイはジャマールのもとへ良い知らせ を伝えようと急いだ。しかしジャマー ルは、皇帝の前でバイ・ゴパールにき まり悪い思いをさせられたのだからそ の金貨は君が持っておいてくれ、と言 って受け取ることを拒否した。バイ・ ゴパールは「私はシーク教でグルの信 者です。ですので自分のものでないも のをいただくわけには参りません」と 言って断った。そこでジャマール・カ ーンは金貨を返してもらう代わりに、 バイ・ゴパールのグルジーに合わせて ほしい、と言った。

バイ・ゴパールは喜んでジャマー ル・カーンをグルジーに引き合わせた。 そこでジャマール・カーンはグルジー に言った、私達は二人とも金貨のこと については正直だったのに、やけどを したのは私だけで、バイ・ゴパールは 無傷でした。「どうしてなのでしょう か?」

グルジーは答えた「バイ・ゴパールはアルダース[シーク教の祈り]を行ったのじゃ。彼は100%の信仰をもってそれをした。お前も何人かの聖者を呼んで祈ったが、どの聖者に対しても絶対的な信仰がなかった」。 ジャマール・カーンはグルジーが自分の考えをご存じだったことに驚いた。そしてジャマールもバイも、グルジーの前にいるだけで非常に祝福され、霊的な高まりを感じた。

教訓――普遍なる存在(The universe)は私たちの信仰の度合いに応じて祈りに答えてくださる。ある人が純粋なハートで、自分の全存在から、深く集中して祈りを捧げると、本当にその人の願いは叶えられるでしょう。

今月の思想

瞑想をどのように定義しても、瞑想と はそんなもんじゃない。 スワーミー・ブラフマーナンダ

発行:日本ヴェーダーンタ協会 249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1 Tel: 046-873-0428 Fax: 046-873-0592

Website: http://www.vedanta.jp

Email: info@vedanta.jp